

# 元町だより



令和2年3月吉日  
京都市立元町小学校  
校長 田 肇 真由美

3月特別号

## 令和元年度 元町小学校 第2回学校評価のご報告

春の日差しが感じられる季節となりました。日頃は本校の教育活動にご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。1月末に実施した「学校評価アンケート（保護者）」「元町っ子アンケート（児童）」「教職員自己評価」の結果を総合的に分析して、今後の改善点について考察しました。限られた紙面ではありますが、以下にご報告いたします。

### 元町小学校の教育目標 夢と笑顔があふれる学校

～共に学びあい 自らの手で 未来を切り拓く子どもの育成～

### 目指す子ども像

わかる子ども  
楽しみ大切にしあう子ども  
元気な子ども

### 概要

今年度、本校では、様々な体験活動から自分の思いや考えをもち、自分の言葉で話すことができる子になってほしいと願い、子どもたちの「自ら学ぶ力」「発信力」を一層伸ばすことを目標に取組を進めてきました。研究教科である生活単元、生活科、総合的な学習の時間だけでなく、他の教科学習や学校生活の様々な場面で取り組んでまいりました。年間を通じてたてわり活動をしたり、毎月の朝会で「+α」として取り組んでいることを発表したりしました。

児童アンケートについては、ほとんどの項目で80%以上の児童が「できている」と答えていますが、第1回の結果より低くなった項目も多くあります。日々の教育活動を通した継続的な改善の手立てを講じていきたいと考えています。

保護者アンケートについては、第1回に引き続き、全体を通して概ね実現度が高いという評価をいただきました。これは、保護者の皆様が教育に対する意識を高くもたれ、本校の教育方針にご理解やご協力をいただき、子どもを見守り、育てようとされているおかげだと感謝しております。第1回の結果と比べると実現度が低くなった項目もあります。これからも、子どもたちの心身ともに健やかな成長を目指して学校と家庭が協力し合い教育活動を進めていきたいと考えております。

教職員自己評価についても第1回の結果に比べて実現度が高くなった項目が多くありましたが、まだ実現度が低い項目があります。全教職員が同じ姿勢で学校教育目標の具現化に向けて取り組んでいきたいと思ひます。

今回の学校評価の結果やいただいたご意見などについては職員会議で取り上げて話し合いました。今後、子ども達に指導をしたり、取組内容の検討や見直しをしたりして元町小学校の教育活動に活かしていきたいと思ひます。お忙しい中、学校評価にご協力いただきありがとうございました。

### ○学校評価（保護者・児童・教職員）の結果

※ 実現度は『よくできている』・『だいたいできている』を合わせた値

第1回と比べ、4ポイント以上高くなっている項目に○印を、4ポイント以上低くなっている項目に▼印をつけています。

|              |   | 質問項目   | 児童<br>実現度 | 保護者<br>実現度 | 教職員<br>実現度 |
|--------------|---|--|-----------|------------|------------|
| 学校生活全体       | 1 | 学校で楽しく過ごす  | ○98%      | 98%        | ○90%       |
|              | 2 | 進んであいさつをする   | 93        | 91         | ○90        |
|              | 3 | チャイムや時間を守る   | 94        | 97         | ○81        |
| わかる子ども       | 1 | 授業はよくわかる（児童）<br>学習内容でわからないことを教員に聞く                   | 96        | ▼82        | ○90        |
|              | 2 | 授業中、話す、聞く、書くなどのけじめをつける                               | ▼80       | 87         | 90         |
|              | 3 | 進んで発表する  | 75        | ▼63        | 90         |
| 楽しみ大切にしあう子ども | 1 | 友だちと仲良くする  | ○97       | 98         | ○90        |
|              | 2 | 一人一人の友だちを大切にする                                       | 94        | ▼95        | ○90        |
|              | 3 | 約束や決まりを守る（児童）<br>ルールやマナーを守る                          | 90        | 97         | 90         |
| 元気な子ども       | 1 | 早寝・早起きをする（児童）<br>望ましい生活習慣が身に付くようにする                  | 71        | 85         | 81         |
|              | 2 | 外で遊んだり、体を動かしたりする<br>スポーツや外で遊んだりしてお子たちの健康増進に気を配る（保護者） | ▼81       | 69         | ○45        |
|              | 3 | きちんと歯磨きをする   | 92        | ▼83        | ○81        |
| +αの取組        | 1 | お手伝いなど自分でできることを見つけて「+α」できることをする                      | ▼73       | ○66        | ○81        |
|              | 2 | 毎日、家で自分から進んで学習する（児童）<br>宿題や予習・復習、自主学習など進んで家庭学習をする    | 81        | 85         | ▼50        |
|              | 3 | 地域の行事やボランティア活動に参加する                                  | ▼50       | 44         | 27         |

## 主な成果と課題

### <学校生活>

児童・保護者とも実現度が90%以上でした。「学校で楽しく過ごしている」と答えた児童は98%で、第1回の時より7ポイント増えています。保護者の皆様には子どもたちが楽しく学校生活を過ごせるようにご配慮いただいているおかげだと思います。

「挨拶」については、年間を通じて意識づけてきました。最近では登校時に大きな声で元気よく挨拶する子が増えてきています。今後も子どもたちが笑顔で学校生活が送れるように見守っていきたいと思います。

### <わかる子ども>

「授業中、話す、聞く、書くなどのけじめをつける」という児童が80%で、前回より4ポイント減りました。教職員の実現度は90%で、授業中の様子からは学習規律があるように思われますが、児童は厳しく自己評価しているのではないかと考えられます。

「進んで発表する」ことができている児童は75%で、前回より3ポイント減りました。保護者も4ポイント減っています。「発表する」ということは授業中に手を挙げて発表することだけでなく、グループ交流で自分の意見を伝えたりノート等に記述したりすることも含まれます。今後も様々な形で自分の意見を発信できる子を育てていきたいと思います。

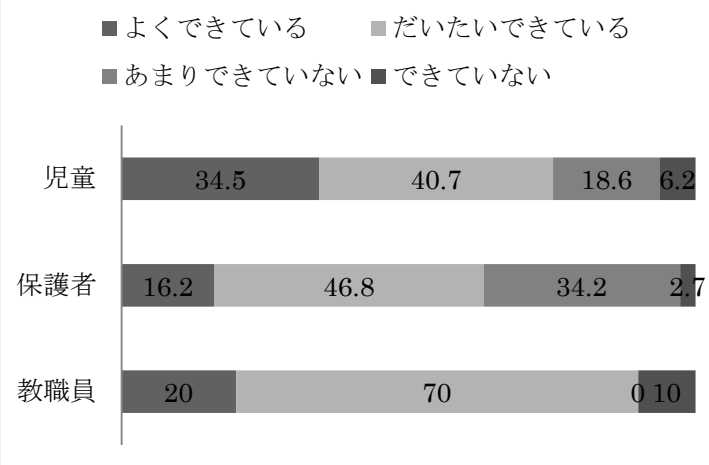
### <楽しみ大切にしあう子ども>

児童・保護者・教職員の3項目とも実現度が90%以上でした。「友だちとなかよくできている」という児童が97%で、前回より4ポイント増えています。1年を通じ、たてわり活動が定着しています。たてわり遊びの日にはどのグループも楽しく遊ぶ姿が見られます。異年齢での関わりの中で子どもたちがお互いを認め大切にする心が育っていることはとてもうれしく思います。

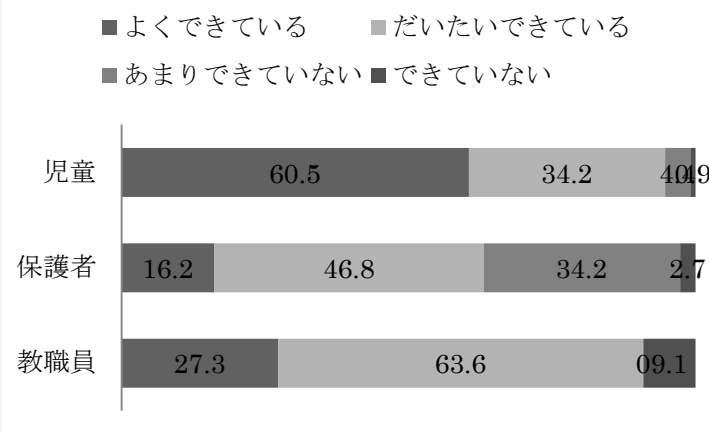
### <元気な子ども>

休み明けに生活リズム調べを実施して、「早寝早起き」について指導していますが、「できている」と答えた児童は71%です。また、85%のご家庭でお声かけいただいています。望ましい生活習慣の確立のために、今後も引き続きよろしくお願いします。「外で遊んだり、体を動かしたりしている」という児童は81%で、前回より5ポイント減っています。寒くなって室内で過ごす子が増えたのではないかと思います。インフルエンザ等の感染症も心配ではありますが、免疫力を高めるために体力をつけていくことも大事だと考えます。学校でも外遊びの推奨をしていきます。

## 進んで発表する



## 一人一人の友だちを大切にする



### <+αの取組>

今年度本校の取組の「+α」という言葉も定着してきています。児童は実現度が下がっていますが、保護者と教職員は実現度が前回より増えています。毎月の朝会で子どもたちにどんな「+α」をしているか聞いていると、学習だけでなく、家庭でのお手伝いなどをがんばっているようです。「継続は力なり」です。今後も続けられるよう励ましていきたいと思います。

「地域の行事やボランティア活動」については、保護者・教職員の実現度は前回より少し増加しましたが、児童の実現度は16ポイントも低くなっています。12月はインフルエンザなどで各団体による地域行事が中止になったこともありましたが、地域の各団体の皆様は子どもたちのために、毎月「ふれあい土曜塾」をはじめ楽しい催しを計画されています。今後も子どもたちが参加するようご家庭でもお声かけよろしくお願いします。

### 保護者アンケートの自由記述より

○研究発表会では、よい学びが出来て楽しかったです。子どもたちが将来IT戦争に巻き込まれないよう祈っています。

⇒1月28日の研究発表会では100名を超える参観者が京都市内だけでなく他府県からも来られました。保護者の方も参観いただいたり、来校者対応で様々なところでご協力いただいたりしました。本当にありがとうございました。本校は今年度「プログラミング的思考」をテーマに研究を進めてきました。新学習指導要領ではプログラミング教育が導入されます。本校でもすでに各教室にタブレットが導入され、プログラミングロボットを使つての学習も進めています。ロボットや人工知能と共存する社会に生きていく子どもたちを育てていきたいと思います。

○子どもが地域に育てられていることに感謝しています。小学校は地域の拠点であり、地域と一体となって教育を行えることは公立小学校の良さです。新学習指導要領や働き方改革と総合しながら、難しいことは理解できますが、地域との協働が重点の一つであり続けることを願っています。

⇒京都市教育委員会からも学校教育の重点として学校運営の柱として「保護者・地域と連携・協働した取組を推進する」という項目があります。本校は今年度も行事だけでなく、総合的な学習の時間などで複数の学年の授業に地域の方がゲストティーチャーとしておいでいただきました。お忙しい中、学校教育にご協力いただき有難く思っています。子どもたちは様々な出会いから多くのことを学んでいます。地域との協働は重要な学校運営の柱となっています。

### 学校運営協議会より

今回の学校評価アンケートの結果については3月5日（木）の学校運営協議会にて、理事の皆様からご意見を頂戴しました。「本校の研究の成果が校外からも高い評価をいただいていることは喜ばしい。」「これからも発信力を高めてほしい。」というご意見をいただきました。今後も学校と家庭と地域が連携をして子ども達を育てていきたいと思います。

## +αできることをする

